

平成22年12月23日

精神障害をオープンにした 場合の求職活動について

雇もれびの会



一般求職者・障害者登録とは？

<一般求職者>

・障害は
クローズ

- ・一般の求人票や求人
情報誌から応募

<障害者登録者>

・障害は
オープン

- ・雇用援護制度や
職業センター等の
支援サービス活用

障害者登録をすると…

ハローワークで障害者窓口で
相談

障害者窓口 継続的な相談が可
能

障害の状態や適性、自分に
合った事業所を紹介。



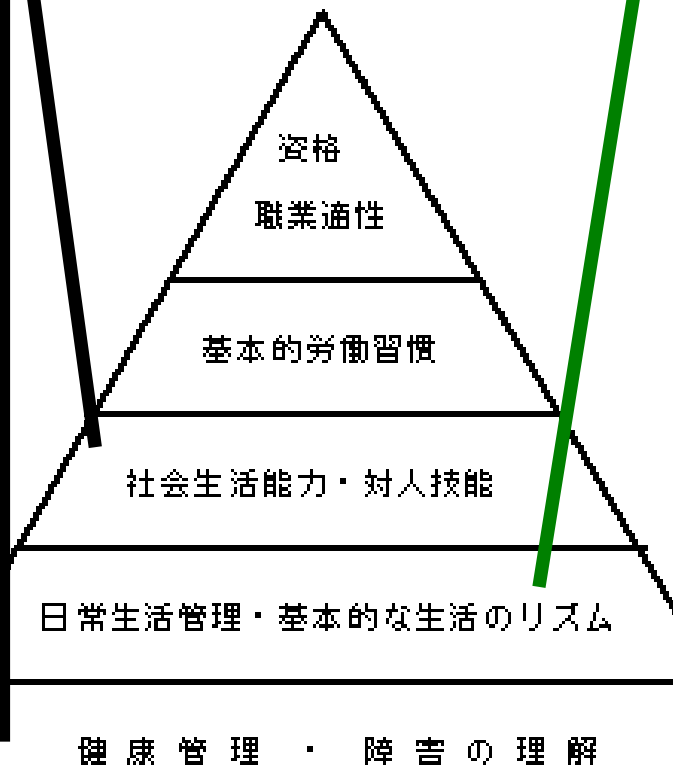
オープン就職とクローズ就職

	メリット	デメリット
オープン就職 (障害を事業所に話し、理解を得て就職する)	<ul style="list-style-type: none">◆就業時間や職務、通院日等の配慮。◆国の制度等のフォロー	<ul style="list-style-type: none">◆求人が見つかるまでに時間がかかる。
クローズ就職 (障害を事業所に伏せて就職する)	<ul style="list-style-type: none">◆採用され易い。	<ul style="list-style-type: none">◆配慮が得られにくい。◆フォローが直接行えない。

ストレスをためないよう

相談する
スキル、

断るスキル
等を身につける



規則正しい生活・服薬管理で気持ちの安定を促す。

疲れ・ストレスをためない工夫

主治医、支援者と相談、ストレス対処方法の習得等

会社ごとに自分史をつくる。

辞めた理由、
よかったこと、
大変だったこと、
などをまとめる。



<会社が知りたいこと>

- ◆ ストレスに感じやすいこと
- ◆ 苦手なこと
- ◆ 体調悪化のサイン
- ◆ その時に周囲が取るべき
対処法



<なぜ知りたい?>

受け入れる時に不安が少ない。
過度なプレッシャーをかけない。
早めに本人の変調に気付く。
サポートする機関と相談できる。
必要に応じて、雇用援護制度を活用
できる。

→ つまり、再発のリスクを下げる
ことができる



<あなたの障害について>

- 障害をオープンにする場合。
一人ひとり状態は違うので、病名より自分自身の状態を説明する。
- 現在は服薬により症状が落ち着いている、
主治医からも就労の許可が出ている

<ブランクについて>

●離職期間が長い、転職が多い、正社員歴がないなど問われる可能性が高い

●言葉を濁したり逃げず、ポジティブな方向での答える

※「人間関係で辞めた」「能力がなくて解雇された」などの理由は、言わなくてよい。）

【ブランクの答え方の一例】

- 家業の手伝い、家事手伝い
- 資格取得の勉強
- 求職活動を行っていた
- 作業所等に通所し、就職に向けてトレーニングを受けていた
- 自宅で療養していた

など・・・

面接でよく聞かれる質問（その3）

残業はできますか？
転勤はできますか？
自動車の運転業務はできますか？



【解説とポイント】

●免許は持っていても、
「主治医より運転を控える」と言われている。
「運転に自信がない」と言うのも一案

●通勤や日常生活で運転するのと、
業務（配送、運転手など）として運転
するのでは**疲労度や責任**も
違います。

障害をオープンにするデメリット

- × 障害に偏見がある人と接する。
- × 体調を必要以上に管理される。
- × 給料が低い。
- × 仕事探しが難しい。



<まとめ>

オープン就職はクローズ就職とは以下の点が大きく違ってきます。

履歴書の書き方や面接での答え方
求職活動の仕方
就職後のサポートの受け方
働く環境

◎自分にとってどの働き方が良いのか、サポートしてくれるスタッフの方ともよく相談して決めて下さい。



謝辞

スライドは愛知障害者職業センター所長の吉田氏のものを許可を受けて加工して作成しました。

